

鳥取県伝統工芸品半世紀展の開催について

販路拡大・輸出促進課

- 因州和紙と弓浜緋の伝統工芸品(国指定伝統的工芸品)指定から50年、鳥取県独自の伝統工芸品の制度(鳥取県郷土工芸品等)創設40周年を迎えることから、今春開館した鳥取県立美術館で開催します。
- 鳥取県の伝統工芸品を一堂に集め、歴史・由来、伝統工芸士、民藝運動の影響等も含めその魅力を内外に発信します。
- 県内の指定伝統工芸品、現役の伝統工芸士のほとんどが参加。30品目・40者・200作以上の出展が予定されています。
- 「用の美」を湛える手仕事の日用品から伝統工芸士の高度な技法を形にした秀作までの数多くの作品に加え、因州和紙と東京藝術大学のコラボによる日本画作品や嶋田悦子氏に寄せられた弓ヶ浜で織られた往時の浜緋(弓浜緋のルーツ、境港市教育委員会特別協力展示)や倉吉出身の映像作家波多野州平氏によるオリジナル動画作品等鳥取県の伝統工芸品の魅力を様々な角度から感じていただける充実した展示となっています。
- 伝統工芸士等による「列品解説」、伝統工芸士の指導による陶芸体験等の企画もあります。



展示をイメージしたジオラマ

- 1 日時 令和7年4月18日(金)～5月10日(土) ※4月21日(月)は休館日
- 2 場所 鳥取県立美術館 1階 県民ギャラリー
- 3 主催 鳥取県・鳥取県伝統工芸士会(会長:中森清(上神焼当主))
- 4 名称 鳥取県伝統工芸品半世紀展「ようこそ、ようこそ50年、これからも」
- 5 入場料 無料
- 6 内容

伝統工芸品一堂展示	「用の美」を湛える手仕事の日用品／伝統工芸士の高度な技法を形にした秀作展示
因州和紙・弓浜緋	歴史・原材料・工程・多様な製品群、因州和紙日本画(東京藝術大学との共同研究により製作)、往時の浜緋(弓浜緋のルーツ、境港市教育委員会特別協力展示協力)等
映像で見る伝統工芸	伝統工芸士・製作・産地の映像上映(映像作家(倉吉市出身)波多野州平氏制作)
列品解説・体験	5月10日以外の会期中の土日祝に伝統工芸士の作品解説(無料)、陶芸体験(有料)

【出品者】

区分		指定工芸品名	出品者
伝統的工芸品 (国指定)		因州和紙	鳥取県因州和紙協同組合 伝統工芸士(長谷川 憲人、中原剛、中原寛治)ほか
		弓浜緋	鳥取県弓浜緋協同組合、伝統工芸士(鳥取弓浜中村括り中村武志)、 [弓浜緋後継者] 緋音工房、弓浜緋工房B、織房絲の文、布乎舎等
		出雲石灯ろう	富永石材店
鳥取県 郷土工芸品等	染織	倉吉緋(福井貞子・倉吉緋保存会)、綾綴織、筒書き、大山友禅染	
	陶磁器	因久山焼、牛ノ戸焼、上神焼上神山窯、法勝寺焼松花窯、因州・中井窯、上神焼、 法勝寺焼皆生窯、浦富焼、岩井窯、福光焼、大山焼久古窯、山根窯、国造焼	
	郷土玩具	木彫十二支、土鈴 ※因州和紙展示内にはこた人形、柳屋(張り子面)作品も登場	
	竹製品	竹細工(仁人竹工房)、因幡の踊り傘、淀江傘	
	木製品	桐箱(大谷桐工)、刳物・挽物(西村孝美)、松江藩籐細工	
	漆芸	漆器(會州堂)	
	太鼓	和太鼓(大柄太鼓店)	

※鳥取県郷土工芸品等の出品者は倉吉緋(倉吉緋保存会作品含む)以外は全て鳥取県伝統工芸士(知事認定)

※会場内での製品即売はありません。

【参考(関連展示)】 鳥取県立美術館コレクション展「鳥取県の工芸―染織の美」(入館料が必要です)

- ・会期: 令和7年3月30日(日)～5月18日(日)
※4月7日(月)、14日(月)、21日(月)、5月12日(月)は休館日
- ・会場: 鳥取県立美術館 2階 コレクションギャラリー
- ・内容: 緋織について、鳥取県立美術館収蔵品所蔵品に加え、緋蒐集家村穂久美雄氏の所蔵品と、倉吉博物館からの特別出品資料により紹介。